

報告 健康日本 21

柏樹 悦郎

厚生省保健医療局地域保健健康増進栄養課
生活習慣病対策室

これまでの健康づくり対策では市町村保健センターなどの施設整備、健康運動指導者等の人材の育成において成果をあげてきましたが、健康づくり対策の具体的な評価が不明確であることや生活習慣改善のための働きかけの経路及び対象者が限定される傾向にあること等の課題を残していました。

厚生省においては、21世紀の健康づくり運動(健康日本21)を現在策定中ですが、その基本理念は、壮年死亡の減少及び健康寿命の延伸を目標に、社会の様々な健康関連グループが一人一人の健康実現を支援することにより、国民の健康づくりを総合的に支援することです。これまでの健康づくり対策と比較して、その特徴は以下の3つの点です。

一つ目は、一次予防の重視と生活の質の向上です。

現在の健康課題であるがん、脳卒中、心臓病、糖尿病などの生活習慣病を克服していくためには、一人ひとりが食生活や運動、喫煙、飲酒などの生活習慣の改善に主体的に取り組むことが必要です。単に病気の発見や治療にとどまるのではなく、健康を増進し、発病を予防する「一次予防」を重視すること、生活の質を高めることにより、稔り豊かで満足できる生涯づくりを目指すことが重要です。

二つ目は、個人主体の健康づくりを支援する社会環境づくりです。

個人個人で、身に付いた生活習慣を変えることは簡単なことではありません。そのため、個人の取り組みを支援する環境が重要です。この環境には、企業活動や、非営利団体の活動、医療保険者の実施する予防活動、行政の活動など様々なものが含まれます。このように、個人の力と社会の力を合わせて、一人ひとりの健康を実現することが、健康日本21の理念です。

三つ目は、国民の保健医療上重要な課題となる対象分野を設定し、具体的目標を定め、さらに目標達成の評価を行うとしている点です。これまでの健康づくり対策における対策自身の具体的な評価が不明確であった点を改

賛助(寄付)団体(敬称略、順不同)

(財)日本対ガン協会*	(財)大阪対ガン協会
明治生命保険相互会社	(財)明治生命厚生事業団
朝日生命保険相互会社	住友生命保険相互会社
日本生命保険相互会社	第一生命保険相互会社
アメリカンファミリー生命保険会社*	
ソニー生命保険株式会社	(財)大同生命厚生事業団
郵政省簡易保険局	
マニユライフセンチュリー生命保険株式会社*	
三共株式会社	ゼネカ薬品株式会社
富士レピオ株式会社	日本ロシュ株式会社(関西)
伏見製薬株式会社	武田薬品工業株式会社
大鵬薬品工業株式会社	三井製薬株式会社
藤沢薬品工業株式会社	エーザイ株式会社
日本ワイスレダリー株式会社	堀井薬品工業株式会社
日本化薬株式会社	大塚製薬株式会社
塩野義製薬株式会社	ノバルティスファーマ株式会社*
シェリング・プラウ株式会社	日本ロシュ株式会社(本社)
株式会社ウイッツ	(*印は2社)

善するため、「健康日本21」では、国民の健康増進、疾病予防および生活の質の向上を図るために必要な対象分野を設定し、それぞれの分野における保健医療水準の指標となる具体的目標を定め、これを達成するための諸施策を体系化しています。具体的目標を定めることによって、国民の健康水準の進展度を評価し、検証することが可能となります。このためには、目標値を設定する段階で目標に関する情報の内容と収集方法を予め決めておくことが必要です。例えば、地域がん登録から得られるがん罹患、死亡に関する情報の質を高め、それを健康づくり運動の評価等に積極的に活用していくシステムが求められます。

厚生省ではこれらの特徴を持った健康日本21を進める基本的方策として、普及啓発の推進、各種保健事業の効率的・一体的事業実施、地方自治体・関係団体への支援、推進組織の整備を4本柱として、今後の施策を総合的かつ効果的に展開することとしています。

目次			
報告	1	精度向上の方策	5
賛助団体紹介	1	統計のページ	6
個人情報保護シンポ案内	2	IACR 報告	7
第9回総会研究会案内	2	第8回総会研究会報告	8
登録室便り	3	編集後記	8
トピック	4		